

“胃癌の内視鏡的治療”の特集(19巻8号)で本誌に登場した胃粘膜切除法が,“内視鏡的胃癌粘膜切除の臨床”(23巻4号)を経て本号の特集となった。この特集から,早期胃癌の内視鏡的切除法は,なお数々の議論はあるにしても,既に治療法の1つとしての地位を築いたと確信した。本号の論文を読ませていただいているうちに,企画に際して,あらゆる方向からの検討をと苦勞したが,各論文の内容はいずれも同一方向の流れをのみ示している。逆に言えば,それだけコンセンサスの得られた治療法となってきた,ということになる。

それゆえに,この治療法の適応条件と効果判定基準の確立が急がれる。今回の特集でそれぞれの

最大公約数的なものは得られるが,臨床の場ではしばしば躊躇させられる。全国レベルでの早急なガイドラインの確立が望まれる。治療法として歩き出した以上,医療としての患者に対する責任でもある。

この治療法の今後は,しばらくは適応の条件を拡大するよりも,より至適な条件の対象を求める方向に進むであろう。つまり,より微小な胃癌の診断法が求められることになる。更に臨床上の問題として,異時多発胃癌の診断がクローズアップされてくる。治療法が診断法への1つのフィードバックを示しつつある。

胃と腸

4月号(第26巻・第4号) 予告

発売予定 4月8日
定 価 1,957円(税込)

主題／早期胃癌内視鏡的切除(2)―内視鏡的根治切除の評価

主 題	早期胃癌内視鏡的切除の評価―経過観察症例からみて……………山口労災病院	竹本 忠良・他
	早期胃癌内視鏡的切除の評価―外科の立場から……………大阪医大・外	岡島 邦雄・他
主 題 症 例	早期胃癌内視鏡的切除の評価―外科の立場から……………林外科病院	高木 國夫・他
	早期胃癌内視鏡的切除の評価―病理の立場から……………都立駒込病院・病理	滝澤登一郎・他
座 談 会	3多発IIc型早期胃癌(2同時・1異時)の内視鏡的切除の1例……………小沢胃腸科	小沢 昭司・他
	内視鏡的ポリペクトミー後1年2か月の経過で再発をみた	
今月の症例	IIc型早期胃癌の1例……………仙台市医療センター・消内	長南 明道・他
	内視鏡的切除術を行った前庭部早期胃癌(印環細胞癌)の1例……………大阪医大・2内	田中 雅也・他
初心者講座	内視鏡的粘膜切除法にて治療した早期胃癌の3症例……………関東通信病院・消内	伊藤 慎芳・他
	早期胃癌内視鏡的切除による根治の条件をさぐる……………岡崎幸紀・中村恭一・他	
初 心 者 講 座	前庭部小彎I+IIa型早期胃癌の1例……………島根医大・2内	有馬 範行・他
	胃X線検査のポイント―私の精密検査法―3. 前処置の工夫	
	井田 和徳・西俣 寛人・浜田 勉	

胃と腸 (第26巻 第3号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1991年3月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年ぎめ予約購読料22,320円(本体21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎(03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎(03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1991, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると,著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当)長谷川・窪田・江口・大竹